

////////////////////////////////////
いわて マナビィ マガジン

No.163 2018. 7.13

////////////////////////////////////
例年よりも梅雨明けが早い地域もあるようですが、局地的な豪雨により西日本では、甚大な被害に遭われたところもあります。県や地方自治体から出された発令が「避難勧告」であっても、時には速やかな避難も必要であると感じています。

さて、今回のマナビィ マガジンは、「8月の事業予定」と「SQSアンケート」についてお知らせをいたします。

センター情報（8月の事業予定）

（1）学校と地域の連携・協働研修会（8/7）

【対象】

- ・学校と地域との連携協働事業を実施、または実施を検討している学校関係者、地域連携窓口教員
- ・学校支援地域コーディネーター
- ・県・市町村教育委員会担当課職員、生涯学習・社会教育担当課職員
- ・その他、関心のある方

【会場】岩手県立生涯学習推進センター（花巻市）

【研修内容】

◆講演「地域とともにある学校づくりを目指して～地域学校協働活動の推進～」

[講師]国立教育政策研究所生涯学習政策研究部

総括研究官 志々田 まなみ 氏

◆実践発表①「町ぐるみで取り組む学校と地域の連携・協働：山田町」

[発表者]山田町教育委員会

教育次長兼学校教育課長 箱山 智美 氏

◆実践発表②「地域・保護者・学校で共に創る豊かな未来～秋田県初のCS～：秋田県大館市」

[発表者]秋田県大館市立城西小学校

校長 三浦 栄一 氏

◆パネルディスカッション「これからの学校と地域の連携・協働」

[コーディネーター] 国立教育政策研究所生涯学習政策研究部

総括研究官 志々田 まなみ 氏

[パネリスト]

・山田町教育委員会 教育次長兼学校教育課長 箱山 智美 氏

・秋田県大館市立城西小学校 校長 三浦 栄一 氏

・岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課

主任社会教育主事 千葉 憲一

【おすすめポイント！】

◎講演からは、「学校と地域の連携・協働」の重要性について学びます。また、事例発表では、先進的な2市町から特徴的な取り組みとその効果について学びます。パネルディスカッションからは、学校と地域の持続可能な連携・協働のあり方について考えます。

(2) コミュニケーションスキルアップ研修講座 (8/9)

【対象】

- ・市町村等の生涯学習・社会教育関係職員
- ・幼稚園、保育所・保育園、認定こども園の教職員
- ・小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員

【会場】岩手県立生涯学習推進センター（花巻市）

【研修内容】

◆講義・演習①「信頼を得るためのビジネスマナー」

[講師] コミュニケーションアドバイザー、電話対応技能検定指導員・試験官、産業カウンセラー 田原 美晴 氏

◆講義・演習②「クレームがチャンスに変わるコミュニケーションスキル」

[講師] コミュニケーションアドバイザー、電話対応技能検定指導員・試験官、産業カウンセラー 田原 美晴 氏

【おすすめポイント！】

◎午前の講義・演習①では、市民や保護者の信頼を得るために押えておきたい、社会人としてのマナーを体験します。

◎午後の講義・演習②では、「話したい」と思わせる聴き方と誠実に伝える話し方を、ペアワークで体験的に学びます。今後活かせる

クレーン対応の心構えとスキルも学ぶことができます。

詳しくは、「まなびネットいわて」に随時、最新情報を掲載しております。
↓↓↓↓

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/29youkou/29youkou.html>

★興味のある方は、ぜひ、アクセスを！！

超簡単！ SQSアンケート

「アンケートの必要性や意義は十分に分かっているけど、その処理にいつも苦戦している」という方も少なからずいるのではないのでしょうか。特に大きな規模の研修会等で参加者のアンケートを集計するのは、多くの手間と労力を使っているのが現状かと思います。

そこで今回ご紹介するのが、『超簡単！ SQSアンケート』です。

SQS (Shared Questionnaire System) を利用すると、(回収後) アンケート用紙をスキャンして得た画像データを特別なソフトに入れば、自動的にかつ速やかに集計してくれます。

【特徴】

- ① 結果が自動集計されること
- ② 自由記述部分も集約されること
- ③ クロス集計可能な Excel データも書き出されること

【準備するもの】

- ① インターネット接続環境の PC
- ② 必要なソフト (全て無料で自由にダウンロードできます)
- ③ コピー機 (スキャナ機能があるもの) または専用スキャナ

【処理の仕方】

アンケート用紙 (調査票) の作成や処理の流れは以下のとおりです。

- ① アンケート作成ソフト「Source Editor」でマークシート方式のアンケートを作る。(選択、複数回答、自由記述 全て対応可能)
 - ② 回収後のアンケート用紙をスキャンして、画像データ (tiff 形式) にする。
 - ③ その画像データを読み取りソフト「Mark Reader」で処理して集計する。
-

